



菅波 茂

5月15日から3日間、RN  
N(人道援助宗教NGOネッ  
トワーク)の10周年記念フ  
ォーラムが開かれた。心からお  
祝いを申し上げたい。

テーマは「現代世界の危機  
と宗教の役割」。事務局長で  
ある黒住宗道氏の司会のも  
と、2日目のフォーラム本会  
議で提言する機会を頂いた。

「物の見方や考え方が異なる  
人たちが共存している社会で  
は、『有難う』の言葉が飛び  
交っているのではないだろう  
か。なぜ有り難いのか。英語  
に訳せないコンセプトが日本  
文化の真髄である。『おかけ  
さま、おたがいさま、もった  
いない』などである。AMD  
Aは『おたがいさま』の相互  
扶助の精神で人道支援を実施

している。『おかけさま』  
はご縁の思想で、宗教文化の  
世界である。ぜひ『おかけさ  
ま』を、宗教者として日本か  
ら世界へ発信していただきたい  
』と提言した。

「おかけさま」のように、

宗教文化を背景にしている日  
常語はたくさんある。世界中  
の国々に宗教が存在する限  
り、宗教文化に裏付けされた  
言葉の理解なしに、真の相互  
理解は困難である。神道、仏  
教、ヒンズー教、ユダヤ教、  
キリスト教、イスラム教など

世界には多様な宗教と宗教文  
化がある。スローガンである  
「西のジュネーブ、東の岡山」  
を更に進化・深化させるた  
め、世界から若い宗教者が集  
う「宗教文化センター」を岡  
山の地に設立することを提言  
したい。岡山は、日本が世界  
に向かって多神教の寛容さを  
發揮し提供できる土俵なので

## 宗教文化センター

ある。

「西のジュネーブ、東の岡  
山」というスローガンを掲げ  
て、第1回おかやま国際貢献  
NGOサミットを94年に開  
催。96年2月に実施した中国  
雲南省大震災の緊急救援活動  
に、県内の宗教者が宗派を超  
えて協力。同11月に開催され  
た第3回サミットの第1回人  
道援助宗教NGO会議で、R  
NNの発足が決定した。

以後、AMD Aの緊急人道

援助には必ず支援をして頂  
き、災害犠牲者に対する「A  
MD A医療と魂のプログラ  
ム」にも参加していただいで  
いる。黒住教副教主である黒  
住宗道氏には、05年12月にス  
リランカで開催された慰霊祭

と、5月27日にあったインド  
ネシア・ジャワ島ジョクジャ  
カルタの地元宗教者との合同  
慰霊祭に参加して頂いた。

「被災地の諸宗教者が協力

して行う合同慰霊祭に宗教に  
携わる支援者として参列させ  
て頂き、今日本でもRNNの  
メンバーが時を合わせて祈り  
添えしていることを伝えま  
す。ジョクジャカルタでは海  
外の宗教が加わった慰霊祭の  
前例はないようで、地元副知  
事をはじめとした列席者各位  
に『祈る心は一つ』というメ  
ッセージもお示しできたので  
はないか」と黒住氏は述べら  
れた。

岡山の精神風土は、医療、  
教育そして宗教に対して感受  
性が強い。阪神大震災被災者  
救援活動に発露した「岡山は  
弱者が存亡の危機に瀕した時  
に動く」はまさに至言である。

世界から若い宗教者が集う  
「宗教文化センター」と連動  
した「祈り行動する宗教者」  
のネットワーク、RNNの今  
後に期待したい。

(AMD A代表)